

# Millar Mikro-Tip カテーテル取り扱い上の注意



**使用目的：** Millar Mikro-Tip カテーテルは、動物でのカテーテル方を含む、生命科学や医学研究アプリケーションで専門の方が使用する目的に設計されています。

**最重要事項：** ベースラインのドリフトを防ぐため、使用前・キャリブレーション前には、常に圧センサーを 37°C の滅菌水または生理食塩水に 30 分間つけるようにしてください。

## 取扱事項

### カテーテルについて

## 推奨

- 毎回使用前には、破損（割れ、曲がり等）がないか、チェックしてください。
- センサー / 電極部分から 5~10mm 離れた部分を持つようにし、内部のワイヤの破損がないようにしてください。
- ピンセットなどを使用する場合、クッションになるようにピンセットの先端に柔らかいチューブをつけてください。
- 除細動器や電気メスを使用する際は、接続を外すようにしてください。
- カテーテルを取り扱う際は、静電マットや静電防止ストラップを使用してください。（推奨）
- 大動物にカテーテルを入れる際は、シースを使用してください。
- 使用後は、直ちに洗浄してください。

## 禁止事項

- 特にセンサー近くを曲げる、折り曲げる、結ぶ、折る、つぶすこと。
- 固いものにセンサーや電極を押し付けること。
- センサー / 電極近くまたはセンサー / 電極間を持つこと
- センサー / 電極部分で鋭いものを使用すること。
- センサーや電極部分に必要な以上の力や圧を加えること。例：カテーテルの上にものを置いたり、センサー部分で縫合糸を強く結ぶ。
- センサー素子は静電気に非常に敏感なため、モニター機器に接続していない状態で、センサー素子を触る。
- 先端のどがったカテーテル導入器を使用する。かたい毛のブラシや高圧洗浄機を使用する。

### 手術手技について

- カテーテルを入れる際に抵抗を感じたら、いったん引いてから再度入れるようにしてください。
- 縫合糸を結ぶ前に、センサー / 電極部を縫合糸より前に完全に進めるようにしてください。センサー電極部が引っかからないように、カテーテルを引き出す前に縫合糸を緩めてください。

- カテーテルを入れたり、引き出す際に必要以上の力を入れること。カテーテルが破損したり、血管内皮や組織を傷つけることにつながります。
- カテーテルを入れる際に、動脈をつかむのに使用したピンセットの先端でカテーテルを損傷させること。
- カテーテルの先端を直接、心室壁に押し込むこと。代わりに心尖部に針で穴をあけ、カテーテルを穴に通してください。（open chest, direct LV approach）

### コネクタ部について

- コネクタ部分が濡れないように保護してください。

- コネクタ部分を液体の中に入れること。

### 洗浄について

- カテーテルとセンサーを洗浄まで、水分につけたままにしえおいて下さい。
- 使用後は、すぐに認定された酵素洗浄剤（Terg\_A\_Zyme）で洗浄してください。

- アルコール、クレゾール、フェノール、水銀化合物、次亜塩素酸、アセトン、過酸化水素、塩化ケイ素、キシレン、トリクロロエチレン、フロンに触れさせずこと。
- 超音波洗浄をおこなうこと。
- コネクタ部分を水につけること。

### 除菌・滅菌について

- 滅菌する前にカテーテルを乾燥させてください。カテーテルから保護カバーを外してください。
- 滅菌したら、保護カバーを付けて、出荷時のプラスチックトレイにしまってください。

- オートクレーブ、放射線滅菌（ガンマ線）、プラズマ、過酸化水素、ホルムアルデヒド
- Sporox または Cidex 溶液の使用

## 保管

- カテーテルの先端には保護のためスポンジまたはプラスチックカバーをつけて、出荷されます。
- 使用しない際には、保護のため先端カバーを付けてカテーテルをトレイで保管してください。
- カテーテルは、暗い場所で、温度が上がらない、乾いたところで保管ください。

注意： Millar Mikro-Tip カテーテルについての詳細は、取り扱い説明書を参照ください。